

1. 富山県富山市における 花火大会の意識調査

山下 悠衣奏

1. 調査概要

（1）聞き取り調査

日時 2024 年（令和 6）7 月 6 日

場所 柴田木材店

インフォーマント 「富山大空襲を語り継ぐ会」事務局長柴田恵美子氏

調査者 山下悠衣奏（4 回生）

（2）アンケート調査

日時 2024 年 8 月 1 日

場所 富山県富山市神通川河川敷

調査者 廣野勝（4 回生）、山下悠衣奏

2. 各調査の内容

（1）聞き取り調査

空襲体験者の想いや、花火大会開催にあたっての批判の有無を知ることができると考え聞き取り調査を実施した。柴田氏は、空襲体験者の多くは花火大会を鑑賞しないものの、開催自体を否定する気持ちはないと述べた。そして、花火大会が若者の空襲を知る機会としてはたらくことを望んでいた。

（2）アンケート調査

開催理由である「犠牲者の鎮魂や復興、平和への願い」の認知度を把握する調査をおこなった。河川敷の一定の場所を通る観客を無作為に呼び止め「この花火大会が富山大空襲の犠牲者の慰霊を込めておこなわれていることを知っているか」を質問した。なお、知っていると回答した人には知った経緯も質問した。回答は、20 歳ごとに区分された表にシールを貼ってもらう形式でおこなった。知った経緯に関しては口頭で質問し調査者が記述した。

回答者は 410 人で、開催理由を知っていると回答した人は計 219 人、知らないと回答した人は 191 人、知った経緯に関しては「教育の場」が最も多く、「インターネット、SNS」「両親」と続いた。